

第2回 教科用図書選定審議会 議事概要

令和元年5月27日(月)

県庁3階大会議室

「令和2年度使用義務教育諸学校(小学校)の教科用図書(文部科学大臣の検定を経た教科用図書)研究資料」について

国語

○委員：観点(2)で、表紙について取り上げてあるが、教科書の付加価値に重きを置くのではなく、教科書の内容に関わることを取り上げ記述すべきではないか。

◆担当者：(2)は、表紙等の「構成・配列及び分量、使用上の便宜等」について調査研究した記述である。

○委員：構成上の特徴として、1ページ当たりの行数は記述しないのか。

●委員：調査研究に当たっては、専門調査員は「採択の観点」に基づいて各教科で「観定の具体」を設定し、様々な観点から多くの調査研究を行っている。研究資料(案)の記述内容は、それらを精選した内容である。

○委員：調査研究に当たって、QRコードはどう扱われたか。

◆担当者：QRコードについては、必要があれば調査研究し記述しているが、調査研究の対象は教科書であるので、アクセス先の状況は対象としていない。

書写

○委員：書写体操について数社記述があるが、内容の違いはあるのか。

◆担当者：学びに向かうストレッチや姿勢を正す体操など、それぞれ特徴がある。

○委員：東京書籍は判型が他社と異なるが、その理由について記述すべきではないか。

◆担当者：手本が実物大で見ることができるというメリットがある。修正案を検討する。

社会

○委員：教科書展示会のアンケートから、領土問題への関心が高いことが伺える。教科書は領土問題について政府見解を基にした記載になっているという理解でよいか。

◆担当者：そうである。

○委員：(2)で、似通った学習の進め方になっているが、あまり差がないということか。

◆担当者：どの教科書でも、授業展開について、導入、展開、まとめから次の学習に活かす、という過程が重視されているということである。

地 図

○委員：表現の特徴や表記等について、社会科の教科書と整合性があると考えてよいか。

◆担当者：例えば領土問題に関する記述などは、同じような表現になっている。地図の示し方についても、社会科の教科書と同じような図版が掲載されており、社会科の授業の中で整合性をとりながら活用できるよう工夫されている。

算 数

○委員：プログラミング教育について取り上げ方にどのような特徴があるのか。

◆担当者：プログラミング教育については全社で取り上げられている。第5学年での取扱いが多い。第6学年や全学年で取り上げた教科書もある。

○委員：家庭での自主的な学習を促すために、どのような内容が取り扱われているのか。

◆担当者：各社とも、巻末で補充学習や発展学習が取り上げてある。また、家庭学習の手掛かりになる内容も見られる。

理 科

○委員：観察や実験について、学習を進める手立ては大切である。

◆担当者：教科書では観察・実験の多くが言語活動を取り入れた形で紹介されているため、(1)①で観察・実験などに関する技能の習得等を記述している。

○委員：QRコードに関し、学校ではインターネット環境は整備されつつあるが、家庭学習の面ではどうなのか。

◆担当者：家庭でのインターネット環境は多様であると考えられる。

○委員：携帯電話等でもQRコードを読み取ることができるが、児童が活用できるかが課題になってくる。

生 活

○委員：(1) ③で、スタートカリキュラムなど接続期についての記述はどうか。

◆担当者：スタートカリキュラムまたは入門期への接続を意味する表現で、就学前教育とのつながりが教科書に記載されていることを記述している。

○委員：信州教育出版の「接続期に配慮したページ」という表現はわかりにくい。「幼児期との接続並びに日常生活と学校生活とをつなぐことに配慮したページが位置付けられている」などと修正してはどうか。

◆担当者：修正案を検討する。

音 楽

○委員：教育出版の「学びや気付きがメモできるようページが構成されている」という記述について、(1) ①の「学習活動」について記述していることになるのか。

◆担当者：教育出版では、全ページにメモができる欄が掲載されており、児童はメモすることによって様々な気付きをすることができる。

図 工

○委員：2社とも、似通った教科書という印象を受けたがどうか。

◆担当者：2社とも、材料や技法などについて、イラストや写真を使いながら現行の教科書に比べより丁寧に取り上げている。鑑賞の作品の取り上げ方や鑑賞の方法については、各社にそれぞれ特徴がある。

家 庭

○委員：他教科との関連についてどうか。

◆担当者：例えば、社会科や保健など、他教科との関連は頻繁に取り上げられている。

保 健

○委員：心の健康やいじめについて記述がある。

◆担当者：心の健康はどの教科書でも取り上げられており、いじめを扱った教科書もあった。

○委員：東京書籍の教科書について、ページ数が多いと感じる。

●事務局：研究資料に、ページ数や判型等の一覧を掲載している。教科書の大きさや重さに関係した補助資料である。

外国語

○委員：教科書の内容を1年間で学習できるのか。

◆担当者：絵や写真が多く掲載されていること、場面を変えて繰り返し学習する構成になっていることから、計画的に活用することで学習できる。

○委員：(1) ③について、実生活の場面での活用は示されているが、他教科との関連が十分記述されていないのではないか。

◆事務局：研究資料(案)の作成に当たって、教科書にある事実を丁寧に確認し、専門調査員の主観をなるべく排除するようにしている。慎重に対応している部分である。

○委員：印象操作にならないよう配慮しながら事実に基づいたものを記述することを重視していると理解した。

道徳

○委員：別冊の道徳のノートについて、どうなっているか。

◆担当者：別冊の道徳ノートについては、研究資料(案)のP.86～87に一覧で示している。

○委員：(1) ③について、多様な学習方法がバランスよく取り上げてあったか。

◆担当者：自我関与に関する内容、問題解決的学習、体験的な学習は、どの教科書でもバランスよく取り上げられていた。

研究資料(案)の修正案について

●事務局：書写と生活について修正案をお示しするので検討願いたい。

書写は、東京書籍の(2)①について、「毛筆教材を半紙の大ききで示すことができるよう、B5を横に広げた変形版で構成されている。」としてはどうか。
生活は、信州教育出版社の(1)③について、「上巻巻頭には、幼児期との接続並びに日常生活と学校生活とをつなぐことに配慮したページが位置付けられている。」としてはどうか。

○委員：了承。

「令和2年度使用義務教育諸学校の教科用図書（文部科学省が著作の名義を有する教科用図書及び学校教育法附則第9条の規定による教科用図書）研究資料」について

一般図書

○委員：附則9条の規定による教科用図書のうち、「よくみるよくきくよくする絵本 たべものとかからだ」については、どの教科として示すか難しい。実物を確認し説明を聞いた上で、資料に示されているとおり、体育（保健）でよい。

○委員：一般図書で道徳の教科書として上がっている2冊は、特定の内容項目でのみ扱われているようだ。もう少し説明してほしい。

◆担当者：該当の2冊については、研究資料（案）で関連する内容項目を明記しているが、2冊で学習すべき内容項目をすべて指導できるわけではないことを示すために研究資料（案）のような記述になっている。各学校での選定に当たっては、道徳の指導について6年間ないし3年間の見通しをもち、これらの本では扱われていない内容項目の学習の機会を保障する必要がある。このことについては、学校に対し説明する。

著作教科書

◆担当者：著作教科書のうち、国語、音楽の研究資料（案）は報告したとおりだが、算数については、現時点で文部科学省から見本本が届いておらず、今後調査研究を行うことになる。著作教科書は文部科学省が作成をしている一種類のみで、いずれも学習指導要領に準拠して作成されている。これを踏まえ、算数については、見本本が届き次第速やかに調査研究を行って研究資料（案）を作成し、委員長に御審議いただいた上で、参考資料として関係各所に提供する。

○委員：了承。

